

環境にやさしい輸送モードを紹介、「国内フェリー・RORO(*)物流セミナー」を開催

1 目的

北九州港は、九州と本州三大都市圏や四国をダイレクトに結ぶフェリー・RORO航路の一大拠点です。海上交通であるが故、台風等で遅延や欠航の恐れも指摘されますが、定時運航率も95%以上と就航率が高く、時間に非常に正確であり、輸送計画を立てやすく、またCO2排出量が、トラック比約4分の1と環境にやさしい、近年注目を集めている輸送モードでもあります。

北九州港におけるフェリー・RORO船が占めるウエイトは、H21年で、海上取扱量の約半分を占め、長距離フェリーでは、苫小牧について、全国2位(H20年)の実績を誇ります。取扱品目は、飲料水や食物など人々の日常生活に直接かかわるものや、鋼材など重量物まで多岐に渡っています。

そこで、官民一体で北九州港の利用促進をすすめる北九州港航路集貨対策委員会では、フェリー・RORO船を活用した物流をメーカー、商社の物流関係者を中心にご紹介するためのセミナーを今回初めて開催いたします。(*)RORO船とは、トラック等の車両が自走して揚積可能な貨物船のこと

2 日時/会場

11月19日(金) 10:45-16:30

午前：セミナー(小倉AIM8F KTI大ホール[小倉北区浅野3-8-1])

午後：施設見学

・新門司フェリーターミナル[門司区新門司北1]

・小倉ROROターミナル[小倉北区西港町118]

予定参加者：81名(自動車部品、化学品メーカー、物流子会社等。関東、中京からの参加予定あり)

3 スケジュール

10:45~11:30 セミナー 会場：KTI大ホール(AIM8F)

1) 北九州港寄港航路網とモーダルシフト推進施策の紹介…北九州市港湾空港局

2) フェリー物流の特長、メリットの紹介…オーシャントランス(株)取締役営業企画部長 辰巳 順 氏

3) フェリー物流を利用した事例紹介…(株)名門大洋フェリー 貨物営業課長 藤野 武昭 氏

13:40~14:40 車両甲板、ブリッジ、内燃機関等フェリー船舶見学(阪九フェリー(株)/オーシャントランス(株))[新門司フェリーターミナル]

15:30~16:10 フェリー・RORO物流で使用するトレーラ、シャーシの見学(川崎近海汽船(株)/(株)シーゲートコーポレーション)[小倉ROROターミナル]

16:20頃 浅野フェリーターミナル(株)フェリーさんふらわあ)を車窓見学

*当日の船舶作業状況、道路事情等により見学内容、時間に変更になる場合があります。

小倉ROROターミナルを取材される方は、事前に入場登録をしていただく必要があります。

4 問い合わせ先 港湾空港局物流振興課 笹倉、秋貞 (093-321-5941)